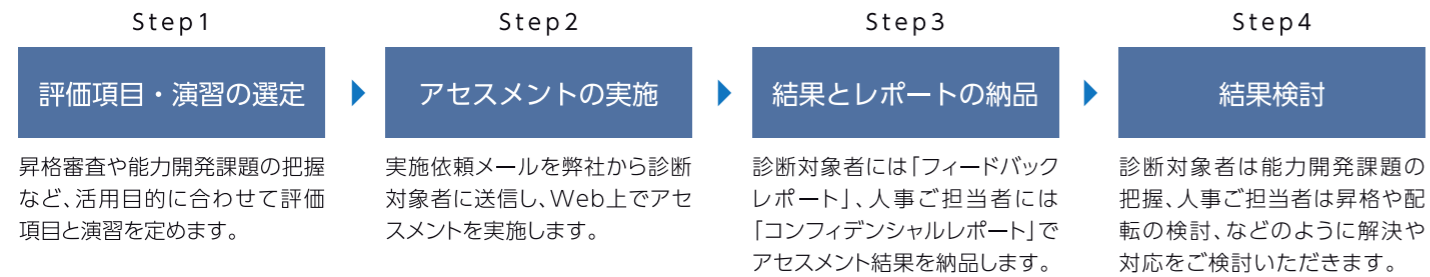


SMART ASSESSMENT

スマートアセスメント®

■実施ステップ



■実施要件

実施方式	■ 対象者がWebで回答
システム動作環境	■ インターネットが接続可能な環境・端末(PC) データは、トランストラクチャが所有・管理するWeb上のシステムで取り扱います 通信はSSLにより暗号化されます。一般的なWebブラウザのみでご利用いただけます プラグイン等のインストールは必要ありません
実施期間	■ 数日～数週間(実施規模に応じて、スケジュールをご相談いたします)
実施時間	■ 全体で約2～3時間(演習の内容と数によって異なる) 数日～数週間の実施期間中は、診断対象者が自分の都合に合わせて回答可能です
演習内容	■ 「スマートアセスメント®」 意思決定演習 方針策定演習 コミュニケーション演習 ■ オプションの例(個別に追加費用を御見積りいたします) 1. レポートではなく、対面(面接)での結果フィードバック 2. アセスメントの結果を使った分析レポート ・育成課題分析 ・人事評価との比較 ほか 3. 評価項目、演習などの作成・カスタマイズ ※価格に関する詳細は、担当者までお問い合わせください

スマートアセスメント®

企業のパフォーマンスの最大化に向けて
社員の能力の適正な評価をご支援します

スマートアセスメント®のお問合せ先

202406



SMART ASSESSMENT

スマートアセスメント®

社員の能力を客観的に分析する WEB上の能力診断ツール

■ サービス概要

「スマートアセスメント® Ver. 2.0」は、トランスストラクチャがWeb上で提供する、人材の能力発揮の診断ツールです。

目的に合わせて評価項目を決め、実際の職務をシミュレートした演習に取り組んで頂きます。積極性、分析など標準的な16の評価項目をご用意しており、状況認識や意思決定、業務遂行の能力を診断します。



■ 特徴



一般的なWeb用ブラウザで実施可能です。プラグイン等のインストールも不要で、設定等の手間なくご利用いただけます。



Webに接続できる環境であれば、いかなる場所、いかなる時間でも演習に取り組めます。診断対象者を集める必要がないため、コスト削減にもつながります。



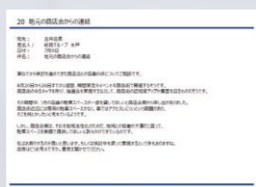
診断結果の数値だけではわかりづらい点も、丁寧にレポートで解説します。能力診断だけでなく、能力開発にも有用です。

■ 診断方法

実際の職務と同様に設定された演習に、Web上で取り組んでいただけます。PC上の操作履歴はすべて記録されているので、例えば、どのような内容にどれだけ時間を使ったのか、何に優先的に取り組んだのか、などが明確にわかり評価の質が高まります。

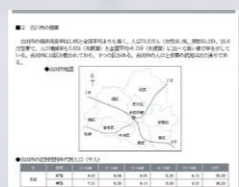
意思決定演習

メール形式で、職場の問題について判断や対応をする演習



方針策定演習

資料を分析して方針を考える演習



コミュニケーション演習

動画を利用したコミュニケーション演習



様々な演習を組み合わせご利用頂けます

■ 診断結果のレポート

個人別フィードバックレポート

診断対象者に、能力発揮の特徴を丁寧に説明します。診断結果の数値だけではわかりづらい点も、細かくフィードバックすることで、能力開発への示唆となります。

次元	スコア
自主性	4
適応性	2
計画性	4
説得	2
共感	4
分析	4
統合	2
協調	2
創造	3

コンフィデンシャルレポート

人事ご担当者向けのレポートで、診断対象者がどのような能力発揮の特徴を持つのか、個人別に説明します。人材の配転や昇格の判断材料として、ご活用いただけます。

氏名	自主性	適応性	計画性	説得	共感	分析	統合	協調	創造
A	3	4	3	4	3	2	2	3	3
B	3	3	4	3	3	2	3	2	4
C	3	4	3	3	3	3	3	3	3
D	3	3	3	4	4	4	3	3	3

■ おもな活用方法

① 昇格判断の材料

昇格人事を検討する際、診断結果を参考材料にして適切な判断に。

③ 採用判断の材料

中途採用やインターンシップなどの採用人事で、面接だけでは難しい能力の診断材料に。

② 能力開発課題の明確化

診断結果は個人の能力開発の材料になります。また、個人のデータを集計・分析することで、全社の能力開発の課題も明らかに。

④ 人事評価のモニタリング

診断結果を人事制度の能力要件と比較することで、人事評価が制度通りに運用されているかどうかのチェックに。

■ 弊社の診断の特徴

① 評価項目設定の柔軟性

貴社の人事制度の人材要件に基づいて診断できます。人事データの蓄積に役立ちます。なお、弊社独自の標準的な評価項目16もご用意しています。

② 演習選定の柔軟性

定型的な演習だけでなく、様々な素材を演習として活用できます。例えばビジネスケースを用いた意思決定の診断や、雑誌記事を用いた論文の審査などです。

③ ビジネス推進の支援

業務や組織の運営に留まらず、経営目的達成への貢献や、付加価値創造の能力も考慮して診断します。そのためタレントマネジメントや経営者候補の診断などにも応用できます。